



いい波に乗ってボディボード体験～5年宿泊学習～

7月23日（水）～24日（木）、5年生は、宿泊学習でいわき海浜自然の家へ行ってきました。慣れ親しんだ仲間と協力したり分担したりして寝食を共にしてきました。ナイトハイクやニュースポーツ、ボディボードなどを体験し、充実した2日間になりました。子ども達は、様々な体験の中で、海でおこなったボディボード体験がいちばん心に残ったようです。また、夜になると、お家が恋しくなる子ども達もいましたが、仲間と支え合ってロッジに宿泊することもできました。これらの充実した2日間の学習は、今後の学校生活に大いに生かされると思います。

9月の主な行事予定



- | | |
|--------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 3日（水）4年手話教室 | |
| 5日（金）6年陸上競技場練習 | 22日（月）5年校外学習（入新田・夏井川）/
職員会議 |
| 8日（月）3年人権教室 | |
| 9日（火）3年見学学習（ムシテックワールド）
/6年陸上競技場練習
/滝中生職場体験 | 23日（火）秋分の日 |
| 15日（月）敬老の日 | 24日（水）3年校外学習（サンマート）
/陶板名画巡回展示～30日 |
| 16日（火）全校集会（陸上大会壮行会） | 25日（木）児童会各委員会前期反省 |
| 17日（水）就学時健康診断 | 29日（月）5・6年小中合同ボランティア活動 |
| 18日（木）6年地区小学校陸上競技大会（市陸
競）/学校運営協議会② | 30日（火）全校集会（通学班会②） |

2つの数字「82」「21」

8月25日（月）、前期後半開始の全校集会において校長から「82」と「21」の2つの数字を提示しました。さて、何の数字でしょうか。

「82」について

「76→30→82」という流れの中の「82」です。登校日の日数のことです。夏休みは30日間、今年度の夏休み前までは76日間、夏休み明けから冬休みまでは82日間となります。

1年間で最も長いこの82日間には、多くの学校行事などの学習活動が計画されています。また、季節も夏から秋、そして冬へと変わり、学びを深めるにはとてもよい季節です。

健康に気を付けながら、充実した82日間にしてほしいと思います。

「21」について



今年の夏の暑さは、例年にも増して厳しいのは、みなさん感じておられると思います。そこで、この30日間の夏休み中の田村市の最高気温を気象庁のデータをもとに調べてみました。

すると、30℃以上（真夏日）の日が21日もありました。ちなみにその中で、35℃以上（猛暑日）は6日もありました。

夏休み期間の3分の2以上の日数が真夏日と猛暑日であったわけですから暑いはずですが、今後も暑い日があると推測されますので、熱中症予防対策をさせて安全に学習できるようにしていきたいと考えています。

授業推進員の廣田徳子先生に教えていただきます

田村市で進めている「東大10人構想」の一端として、今年度、授業推進員（CCT：CO-Worker Teacher）の配置をしていただき、8月25日（月）に着任しました。CCTの活用にあたっては学習内容の理解が早い児童を更に伸ばす（得意伸長）ことを目的としておりますので、算数の授業を中心に、早く終わったり先へ進めたりできる児童に指導をしていただくようになります。

上学年を中心にして全学年の授業に入って指導をしていただくように考えております。お世話になります。

- ・授業推進員名：廣田 ^{ひろた} ^{のりこ} 徳子 先生
- ・配置日時：水曜日を除く授業日の午前



教室に落ちているごみは？

教室に授業中に切って出てきた紙くずが落ちていました。じっと見てみると、ある子は気づかずに踏んづけました。ある子は跨ぎました。気にならないのか、自分が落としたごみではないので拾う必要がないと思っているのか、ごみは汚いと思って手を出さないのか…。

ごみを放置しておくとうどうなるのか。窓割れ理論という言葉思い出しました。それは、1枚の割れた窓を放置すると、割られる窓が増え、建物全体が荒廃するという理論です。1つのごみを放置しておくと、どんどん教室にごみが落ちていくことになります。ごみが増えていくと、子ども達の言葉遣いや所作の荒れにもつながりかねます。たかが1かけらのごみですが、ていねいな指導が必要と考えます。

では、視線を街へ向けると公園や公共施設、道路では、どうでしょうか。やはり、教室と同じくごみが落ちていれば、そこへ平気で捨てたり、なんとなく捨ててしまったりして、結果的に汚れた街となってしまいます。犯罪にもつながりかねます。

9月には、滝根小中学校児童生徒が合同で地域のごみ拾いを行います。おそらく、そんなにたくさんのごみはないでしょう。しかし、みんなで、ごみ拾いをする事で、ごみを放置しないことや、落ちているごみは拾ってごみ箱へ捨てる意識と習慣づくりができるのではないかと考えます。

皆様のご家庭ではいかがでしょうか。まずは、大人が自ら行動で示したいものです。

